

令和 2年 6月15日  
学校法人 都築学園  
専門学校 第一自動車大学校  
校長 中塚 健三

# 令和元年度 学校関係者評価 報告書

## 《評価対象期間》

自：令和元年4月1日

至：令和2年3月31日

学校法人都築学園 専門学校第一自動車大学校は、福岡県内での新型コロナウイルス感染症患者の発生状況に鑑み、令和2年5月1日から11日までの間、学校関係者評価委員会を书面開催致しました。令和元年度の自己点検・評価で明らかにした学校運営の現況、課題及び改善策について学校関係者評委員の忌憚のないご意見をいただき、取りまとめた結果を、「令和元年度 学校関係者評価 報告書」としてここに公表致します。

教職員一同、教育の質の向上、法規適正な校務運営、透明性の確保等、より良い校務運営に取り組んで参りますので、より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### 学校関係者評価委員名簿

氏名	役職等
村川 英司	一般社団法人福岡県自動車整備振興会 指導部部長
鶴戸 美智男	九州三菱自動車販売株式会社 上級執行役員グループサービス本部長
平野 定	福岡市東光公民館 館長
上嶋 忠博	東栄自動車有限会社 代表取締役社長 (本校 卒業生)

## 1 教育理念・目標

教育基本法及び学校教育法に従い本校の建学の精神である「個性の伸展による人生錬磨を校是とする」を掲げ、その方針に則り各自の能力及び特性に応じ社会の要求に即応した一級自動車整備士を5年、二級自動車整備士を30年以上に渡り育成し、我が国の自動車産業の技術の振興に寄与している。

また、自動車産業界の進歩と保安基準の変化に伴い高い技術を有する1級自動車整備士コースを開設するなど社会のニーズに応えた体制を整えるとともに、日本人学生と海外の多様な国からの留学生を広く受け入れ、グローバルな環境を活かして職業人養成を行い国際社会に貢献する学校を目指している。

課 題	改 善 策	評価委員意見と回答
即戦力となりかつ時代の変化に対応できる人材像の更なる探究	業界団体との密接な連携による将来必要な人材像の具体化	<p>■失敗を恐れず、挑戦する勇気を持った人材を育成して下さい。(村川)</p> <p>→目標とする人材像の一つの要素として含める。</p> <p>■関連団体・企業との緊密な連携をどの様に進めるかが重要です。(鶴戸)</p> <p>→整備振興会や企業を訪問し、意見を聴取するとともに、インターンシップの際の現地確認の機会を活用し、現場の情報を収集する。また、企業の行う技能コンテストの見学を積極的に行う。</p>
留学生基礎自動車整備士コース第1期生が初めて国家試験を受験する年度であり、留学生100%合格を維持する必要がある。	学生の学力の継続的かつ確実な把握と学力レベルに応じた教育の実施	同意
社会経済のニーズの継続的かつ的確な把握及び魅力的な専門学校づくり	高校及び業界団体との連携の更なる強化	同意

将来構想に関しては、周知すべき範囲・内容が明確になっておらず検討する必要がある。	将来構想の更なる具体化と学生・保護者に周知すべき時期・内容・要領の検討	同意
学科等に対応するニーズの的確かつ継続的な把握	自動車整備振興会、JAMCA、自動車関連業者・ディーラー等から積極的かつ継続的に社会的ニーズや自動車産業の将来的な動向に関する情報を入手し、教育目標や育成人材像への影響について継続的に分析していく。 このため、教員は整備振興会や各ディーラー等の外部講習を着実に受講する。	同意

## 2 学校運営

学校設置当初から学校運営・目的に沿った「教育指針」を学校運営方針として定め、中長期的な視点のもと、教育に影響を及ぼす環境の変化や前年度の教育成果を分析し、年度の教育、就職支援、募集広報等について事業計画を策定し、法人の規程を遵守しつつ着実に校務を運営している。

課 題	改 善 策	評価委員意見と回答
自動車整備士に対する社会的ニーズや自動車産業の将来的な動向を踏まえた学校運営方針の継続的な検討	学校関係者評価を活用した継続的な検討	HV化により、ブレーキ・キャリパーO/Hを現場で行うことが減り、ブレーキO/Hが出来ないという整備士が多くなっていると聞きます。基本的な作業こそ学生の間には反復練習を行う必要があると思います。 (村川) →基本の重視は、本校の教育指針の一つでもあるが、本年度教育でより強調（教員に徹底）するとともに、令和3年度事業計画に反映する。

運営組織や意思決定機能に関する法人規定の学校としての更なる具体化	法人の規定を踏まえた学校の規定の整備・具体化	同意
学内統合情報システム S-W i n g の機能の十分な活用ができていない。	S-W i n g の活用要領の普及教育及びマニュアル化	同意

### 3 教育活動

国土交通省の指定校として基準以上の教育及び学校独自の指定外教育等によりわかる教育、わからせる教育をモットーに、留学生を含む学生一人一人の個性を活かし、学力に合ったきめ細やかな授業体制の中で基本に力を入れ、1・2級自動車整備士合格率及び就職率100%達成に向けて全教職員一同全力を注いでいる。また、1・2級自動車整備士以外の自動車関連の資格取得を積極的に奨励し、学生の1・2級自動車整備士としての自覚及び技術の向上に努めている。

課 題	改 善 策	評価委員意見と回答
卒業後、実社会で即戦力となれるよう、より実践的な教育課程の編成。	卒業生の追跡調査と教育課程の編成への反映	卒業生への調査は、かなり有効と思います。(鶴戸) →アンケート調査を実施致します。
令和成元年度は、自動車整備士の国家試験100%合格を達成できなかった。	学生の個々の特性・能力に応じた融通性ある学習時間の確保及び柔軟性ある指導体制の構築	同意
実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムの充実	実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムの更なる研究と工夫	同意
インターンシップ以外の科目への関連分野の企業等の意見の反映	学校評価委員会の活用及びより積極的な企業等からの意見聴取	同意
実践的な職業教育の設定が不十分	実践的な職業教育の科目の充実	電気配線図の見方は、しっかりと教育して下さい。(村川) →本年度以降の教育に反映(教員に徹底)
学生に対するアンケートや自己評価、教	授業評価の実施・評価体制の検討と制	授業中に発言させる、質問させる内容が良いかと思

員相互の授業見学等を行っているが、実施の根拠・要領等制度化が不十分	度化	ます。一方通行だと、理解度が不明です。(鶴戸) →授業の結節をとらえて理解度の確認を実施するよう、教員に徹底致します。
十分かつ安定的な一級自動車整備士・二級自動車整備士資格保有教員の確保 特に、一級自動車整備士資格保有者の安定的な確保	資格保有者に関する継続的な情報収集及び募集 関連企業等との連携の更なる強化	同意
教員の指導能力向上のため、福岡近傍で企画される関連分野の研修会に教員を参加させているが、教員数に余裕がないため参加できない場合がある。	継続的な募集による教員の確保	同意

#### 4 学修成果

一級自動車整備士コース、二級自動車整備士コース、留学生基礎自動車整備士コースそれぞれ毎に明確な目標を設定し、結節毎の評価判定と個々に応じたきめ細やかな教育により、段階的な実力向上を図っている。

令和元年度は、自動車整備士国家試験を受験した留学生が100%合格できたことは、大きな成果であったが、日本人学生が一部合格できなかったことは、引き続きよく分析検討し教員の能力向上を含め今後の教育に反映していく。

退学率の軽減策については、担任制により、自己発見検査やスクールライフアンケートで学生の心情等の把握に努めるとともに、職員間の情報の共有により組織的に退学率の軽減を図っている。

就職に関しては、日本人学生、留学生ともに、100%就職できており、着実に成果があがっている。

課 題	改 善 策	評価委員意見と回答
一級自動車整備士資格保有者を含むより好条件での就職	きめ細やかなアフターケアによる企業等関連業界との信頼関係の維持強化	同意

学力不足により教育について行けない学生や学習意欲の低い学生への対応	教員の充実による学生の個々の特性・能力に応じたきめ細やかで柔軟性ある指導体制の構築	同意
卒業生に関するデータが学校として整理できていない。	自動車関連業界や社会で活躍する卒業生の名簿の整備	同意
就職担当教員や卒業生の担任による情報収集が主体となっており十分把握できていない部分もある。	企業等に対するアンケート調査の検討	企業に出向き、業務見学なども有効ではないかと思えます。(鶴戸) →卒業生のいる企業等に出向き、業務見学や面談により積極的に情報を収集致します。

## 5 学生支援

就職支援策については、各種教育を通じて、入学時から学生の職業意識の涵養に努めるとともに、クラス担任及び就職担当によるきめ細やかな就職・進路指導により、概ね希望の方面に100%就職できている。

経済的な支援に関しては、学校独自の特待生制度を保持するとともに、複数の担当事務職員の指定により高等教育の修学支援新制度を含めた日本学生支援機構の奨学金制度等を可能な限り有効に活用できるように、学生、保護者が利用しやすいきめ細やかな支援体制を整備し、懇切丁寧な対応に努めている。

課 題	改 善 策	評価委員意見と回答
就職担当、クラス担任を中心に面接指導、相談等を行い、学生の希望に沿った進路、就職支援体制を整備しているが、留学生の増加に伴う就職支援体制の強化が必要	就職支援担当教員の補佐者の指定	同意

<p>学生相談に対応するためクラス担任制による他、事務職員を含め相談内容に応じた対応者を指定するとともに、必要に応じ副校長主導による総合的な対応を行っているところであるが、留学生の増加に伴い、多様な留学生と十分にコミュニケーションがとれる体制の整備が必要</p>	<p>留学生の同級生や上級生の協力の獲得によるより効果的な学生相談に対する体制の整備</p>	<p>同意</p>
<p>学校独自の特待生制度を保持するとともに、高等教育の修学支援新制度を含めた日本学生支援機構の奨学金制度等を利用し易いきめ細やかな支援体制を整備しているが、学生の関心が低い。</p>	<p>保護者への積極的な情報提供及びクラス担任を含めた継続的な新修学支援制度に関する普及教育</p>	<p>同意</p>
<p>課外活動は、クラス担任等が学生の希望に応じ可能な範囲で支援を実施しているが、組織的な支援体制については十分整備できていない。</p>	<p>定期的に学生の意見を聴取し、必要な支援体制を確立する。</p>	<p>同意</p>
<p>卒業生の就職先への会社訪問を行うとともに、インターンシップの機会に卒業生の激励や活躍状況の把握を行っている。また、相談があれば卒業後も就職のサポートを実施しているが、能動的な支援体制は整備できていない。</p>	<p>就職支援体制の強化による能動的な卒業生への支援体制の構築</p>	<p>同意</p>

学園内の関連校と連携し、一貫したキャリア教育・職業教育に取り組んでいるが、学園以外の高校との連携が不十分	新たな連携校の開拓	同意
------------------------------------------------------	-----------	----

## 6 教育環境

福岡市博多区の博多駅の近傍に位置しており、カーディーラー等自動車関連の企業が多数集中する地域が、通学路と重なっていることから職業意識の涵養や修学意欲の向上に適した恵まれた教育環境にある。

また、学生の居住する地域の近傍には、複数のカーディーラーや自動車整備工場が存在することから、希望のインターンシップ先で研修しやすい環境にある。

学校の施設・設備については、一級及び二級整備士養成施設として必要な基準を十分満たしており、施設の防火点検や車両用エレベーター等の保守点検等も定期的に受検し、合規適正に管理している。

課 題	改 善 策	評価委員意見と回答
逐次進化する自動車の整備に必要な教材の確保	自助努力による施設・設備の整備による経費の節用と効果的な運用	同意
事務職員を含め組織的にインターンシップ先の確保及び研修状況の把握に努めているが、留学生の増加に伴うインターンシップ受け入れ企業の確保が今後の課題である。	ディーラーや各社整備工場との連絡の維持及び先行的な調整	同意

## 7 学生の受け入れ募集

本校は開校以来、建学の精神である「個性の伸展」を重視し、整備士への夢と希望を持った生徒、社会人、工業系自動車科・コース以外の出身者、留学生を、幅広く受け入れている。

地域的には九州・山口各県を中心に、教職員に担当区域を付与し、それぞれの担当区域内の高校訪問を計画的に実施し募集広報を行って



いる。

また、ホームページやパンフレット等、各種広報媒体に国家試験の合格状況や就職状況等の教育成果を正確に伝えている。

課 題	改 善 策	評価委員意見と回答
教職員に広報担当区域を割り当て高校訪問を行うとともに、進学ガイダンス等各種募集広報手段を駆使し学生募集活動を行っているが、日本人学生特に一級自動車整備士コースの確保ができていない。	日本人学生特に一級自動車整備士コースの学生の確保に向けた募集広報の強化	同意
学生募集活動においては、30年以上の高い就職実績と国家試験合格までの教育ノウハウ、多くの卒業生が自動車業界で活躍していることを、高校訪問やオープンキャンパス、進路ガイダンス等を通じ周知に努めているところであるが、教職員の募集広報能力の向上が必要である。	教職員の募集広報に係る勉強会及び機会教育の実施による教職員の募集広報能力の向上	同意

## 8 財務

学校法人都築学園全体として効率的・効果的な経営に取り組んでいるところであり、中長期的には学校の財務基盤は安定しているものと考えている。

また、私立学校法や学園規程に基づき、公認会計士による監査を行い、評議員会、理事会に報告するとともに、ホームページ上で情報公開している。

課 題	改 善 策	評価委員意見と回答
中長期的には、学校の財務基盤は安定しているものの、安定的な学生数の確保が重要である。	効果的かつ効率的な募集広報	同意

予算・収支計画は、前年度の収支を結果を踏まえ、より一層の改善を図るよう計画しているが、安定的な学生数の確保が重要である。	効果的かつ効率的な募集広報	同意
--------------------------------------------------------------	---------------	----

## 9 法令等の遵守・内部質保障

本校は文部科学省から認可された専修学校であり、国土交通省の一級・二級整備士養成施設であるため、専修学校としての文部科学省の設置基準を遵守するとともに、福岡陸運局による立ち入り検査を受検する等、法規適正に学校運営を行っている。

また、自己点検・評価を行い問題点の改善を図るとともに、その結果を学校ホームページで情報公開している。

課 題	改 善 策	評価委員意見と回答
毎年自己点検・評価を行い問題点の改善を行っているが、学校関係者による評価については、未実施である。	令和2年度以降、学校関係者評価を実施する。	同意

## 10 社会貢献・地域貢献

若者の車離れが進んでおり、車に興味を持つ若者が減少する中、自動車業界や自動車整備士について高校生、中学生に幅広く知って貰うため積極的に体験学習等の授業を受け入れている。

また、留学生基礎自動車整備士コースでは、年2～3回、近隣の公民館で地域の住民と留学生の交流行事を催すとともに、年1回の献血や月1回の学校周辺地域の清掃活動を行っている。

課 題	改 善 策	評価委員意見と回答
ボランティア活動に関するポスターを掲示し学生の啓蒙を図るとともに、ホームルームでの紹介等活動の奨励を行っており、学生のボランティア活動の状況の的確な把握が課題	ボランティア活動に参加している学生の激励や輸送等の支援を積極的に行うとともに、ホームルームでの紹介、活動の様子の写真の掲示等により継続的な学生の啓蒙を図る。	同意

<p>自動車業界や自動車整備士について高校生、中学生に幅広く知って貰うため積極的に体験学習等の授業を受け入れている。</p> <p>また、関連企業の外国人労働者に対する日本語教育を、本校で日本語教育を行っている非常勤講師が実施している。</p> <p>今後は、地域に対する公開講座・教育訓練受託のための態勢の確立が課題</p>	<p>地域に対する公開講座・教育訓練の計画の具体化と積極的なPR</p>	<p>同意</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------	-----------

## 11 国際交流

少子化による国内の慢性的な労働力不足を踏まえ留学生基礎自動車整備士コースを設置し、海外の多様な国からの留学生を広く受け入れ、グローバルな環境を活かして日本人学生と留学生の職業人養成を行い国際社会に貢献する学校を目指している。

課 題	改 善 策	評価委員意見と回答
<p>少子化による国内の慢性的な労働力不足を踏まえ留学生基礎自動車整備士コースを設置し積極的な留学生の受け入れを行っているが、今後は、留学生基礎コースから二級自動車整備士コースに進級した留学生の確実な就職先の確保が課題である。</p>	<p>インターンシップの機会等を活用し、自動車整備関連企業の外国人労働者に関する理解を促進する。</p>	<p>同意</p>
<p>学習成果の適切な把握と国内外への情報発信</p>	<p>学習成果の係数的な把握と学校ホームページ等での公表</p>	<p>同意</p>

## 12 全般を通じての意見

■近年、自分の意見を言えない方が多く見受けられます。授業の中で、人前で発表する機会を与えてはどうでしょうか？学校によっては、

グループ研究をさせ、全校生徒の前でプレゼンテーションを実施している学校もある様です。(村川)

→本校でも大切な要素と認識しており、留学生基礎自動車整備士コースの生徒に対し、「発声練習」と称して、毎月人前であいさつや指示等を大きな声を発する教育を実施しておりおますが、実習を含めた各授業の中で、より多く自分の考えをまとめ人前で発表する場面を増やしていくよう、今後のシラバスに反映させるとともに、日々の教育にあたり着意するよう、教員に徹底致します。

■地域との交流は、未だ始めたばかりであり、今後とも継続していただきたい。(平野)

→事業計画でも重視している事項の一つであり、今後も継続するとともに、充実を図って参ります。